

福島県双葉郡の状況と 民間の取り組みについて



いわき・双葉の子育て応援コミュニティ

cotohana

鈴木 みなみ

自己紹介

山形県最上郡真室川町出身
山形県内の短期大学を卒業後、



2011年 立命館大学(京都)に入学

2011年 6月～ 宮城県石巻・気仙沼・山元町

2011年12月～ 岩手県宮古市

* 京都から月に2～3回東北入りして活動

2013年 2月～ 学生団体を設立し、福島県で活動はじめる

2013年 9月～ 大学を休学

NPO法人フクシマ環境未来基地」入職

福島県いわき市・双葉郡で活動

自己紹介

2015年 7月～ 双葉郡未来会議発足、事務局に入職

2016年 9月 第一子出産

2018年 4月～ 双葉郡未来会議 子育て支援事業部発足

2019年 2月～ いわき・双葉の子育て応援コミュニティ
「cotohana」として独立

2019年 5月～ （一社）とみおかプラスで復興支援として勤務



SNSで活動状況等発信していますので覗いて見てください

双葉郡とは



面積 km²

双葉郡	865
いわき市	1,232
福島市	767
郡山市	757
会津若松市	382

太平洋に面した温暖な気候に恵まれ農業や漁業を生業とする一方、戦後は東京電力の発電所が複数立地する電源地帯として、エネルギーの供給地でもありました。

2011年3月11日の東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故の影響で、一時は郡内の全町村がまちごと避難。大半の地域が避難指示区域に指定され、県内各地にそれぞれ行政拠点を設けてきました。

双葉郡 震災関連データ

市町村名	平成23年3月11日	避難者数 (自治体HPより)	町内居住者
広野町	5,481	614	4,197
楢葉町	8,042	3,161	3,729
川内村	3,038	512	2,165
富岡町	15,827	11,870	1,043
大熊町	11,505	10,302	25
双葉町	7,093	6,155	—
浪江町	21,434	20,398	1,051
葛尾村	1,566	992	326
合計	73,940	54,004	12,536

双葉郡 震災関連データ

	直接死	関連死
岩手県	9,541	467
宮城県	4,673	928
福島県	1,613	2,250
計	15,827	3,645

復興庁HPより

広野町	44
楡葉町	138
富岡町	429
川内村	99
大熊町	123
双葉町	150
浪江町	425
葛尾村	39
	1,447



双葉郡
未来会議

FUTABA
FUTURE
MEETING

はなれていても おとなりさん

双葉郡未来会議とは震災以降、
バラバラになった双葉郡の住民同士が繋がり、
情報や問題を共有し今後に役立てる、
双葉8町村の住民が民間レベルで集まる場所です。



震災以降バラバラになった双葉8町村の住民同士が繋がり、地域の情報や課題を共有・発信し、
今後に役立てる民間レベルの寄り合いとして設立。

「見る」「知る」「つながる」を活動の柱として
視察事業や連携会議を開催しています。



双葉郡未来会議 ボイスアーカイブプロジェクト

地元双葉郡の人々の経験や思いをアーカイブし、貴重な証言集として発信しています。聞き手、編集、発信も全て地元の間人がやることで、他のメディアとは違う、深くリアルな発信となっています。

cotohanaの取り組み

2016年～ いわき市を中心に子育て支援の取り組みをスタート

2018年～ 双葉郡から近隣町村に避難しながら子育てする女性の
居場所作り・ヒアリング

2019年～ 双葉郡内に居住して子育てする女性を対象にした取り組み

子育て
ママサロン
の運営



子育て支援
情報誌
の編集・発行



子育て支援に
取り組む
団体・個人の
ネットワーキング

cotohanaの取り組み

子育てママサロン(居場所づくり)事業の背景

- ・少しずつではあるが郡内に子供達が帰ってきている
(中には震災後初、待機児童が出た町村も)
- ・震災前の地縁が崩壊しているので、
「どこに誰が住んでいるか」わからない
- ・子育てする女性のコミュニティがない

女性が安心して集える場所をつくる

子育ての不安や悩みの相談先を増やす

ママサロンのようす



▲ 2019年5月21日 福島民報

cotohanaの取り組み

子育て支援情報誌制作事業の背景

- ・子育てする上で社会インフラが十分とは言えない
- ・医療、行政サービス、買い物、遊び場等
「知っていれば不便や不安が解消される」情報が多い
- ・変化の大きい地域ゆえ、情報格差が大きい

子育てに係る情報の収集・整理・発信

子育ての困難さを解消するだけでなく
この地域で子育てする楽しみを増やしたい

cotohanaの取り組み

ネットワーキング事業の背景

- ・行政ヒアリングを行った結果、町内で子育てしている世帯への支援が十分とは言えない状況
- ・補完する民間の取り組みも現在はない
- ・群外の子育て支援団体も巻き込んでいくことが重要

地域内外のNWを構築し、支援を必要としている人に対してアプローチしていく

地域の女性をエンパワーメントしていくことで地域力の向上も期待

「この地域で子育てする楽しみを
増やしていきたい」

まずは自分が、
この地域での暮らしを楽しむ！
楽しくなるように工夫する！

そのおもいが少しずつ
伝染していきますように。